



玄侑宗久講演会

—鶴と亀の生き方

鶴と亀は、道教が考えた長寿と和合のシンボルである。しかしこの二種類の生き物は、殆んど別な世界に棲んでいると言ってもいいほど、生き方も価値観も違っている。いったいこれはどういうことなのか。そこに込められた思いを探り、現代社会における和合について考えてみたい。

★日時 5月11日(水) 14:00~15:30

★受講料 3,348円(会員) 3,672円(一般)

★会場 朝日会館15階・朝日ホール (名古屋市中区栄1-3-3)

プロフィール:玄侑宗久氏 げんゆう そうきゆう

1956年 福島県三春町生まれ
安積高校卒業後、慶應義塾大学中国文学科卒業
さまざまな仕事を経験した後、京都・天龍寺専門道場に入門
現在は臨済宗妙心寺派、福聚寺住職
2001年『中陰の花』で第125回芥川賞受賞
2011年、東日本大震災復興構想会議委員に就任



当日、朝日ホールで書籍を購入いただいた方に、玄侑宗久先生のサインをしていただけます!

★受講料お支払いについて★

ご予約の上、前もって窓口をご利用頂くか、銀行振り込みでお振込願います。

※当日会場で手続き頂く場合、会員の方も一般料金(3,672円)となりますので、ご了承願います。

◆名古屋市中区栄3-4-5

スカイル10階

TEL052-249-5553

担当:平松

主催/朝日カルチャーセンター
後援/朝日新聞社